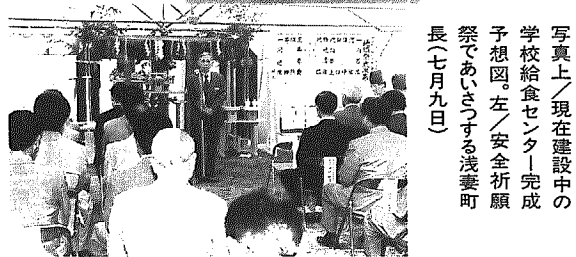
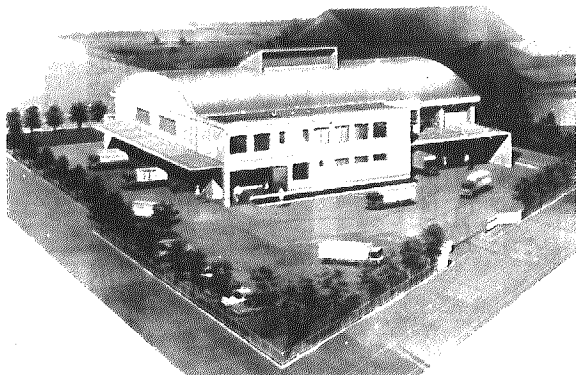


新給食センターが着工

来年2月に完成、3月から稼働の予定

新しい学校給食センターの建設工事が、金巻の多目的広場南側で現在、進められています。大野小学校前には、給食センター（昭和四十四年完成）が老朽化し手狭になったため、新しい給食センターが建設されることになったのです。

この新しくできる学校給食センターは、鉄筋コンクリート二階建て（一部鉄骨）で延べ床面積は二五九・三平方メートル。現在の給食センターの約三倍になります。そして、



写真上／現在建設中の学校給食センター完成予想図。左／安全祈願祭であいさつする浅妻町長（七月九日）

三月から稼働する予定です。

七月九日（火）には、新学校給

山田土地改良区解散に向け町と仮調印 7月1日

七月一日（月）、町と山田土地改良区（理事長・若林茂氏）の間で、山田土地改良区解散に伴う財産の移譲に関する覚書を取りかわす、仮調印式が行われました。町から町長はじめ関係課長、山田土地改良区からは若林理事長はじめ役員の方々が出席。来年三月末で山田土地改良区は解散し、町へ移管するという内容の覚書がかわされました。



覚書に署名する浅妻町長と若林理事長



町政のさまざまな動きをお知らせします。

- 6月15日～7月15日
- ▼6月18日 広域清掃事務組合議会（新潟市、町長出席）
 - ▼28日 新潟西地区防犯組合連合会総会（西警察署、町長出席）
 - ▼29日 郡町村会6月定例会（巻町、町長出席）
 - ▼7月3日 寿学級町長と語る会（役場）
 - ▼4日 全町PTA補導員研修会（改善センター、町長出席）
 - ▼6日 社会を明るくする運動（中央公民館、町長出席）
 - 黒崎中後援会総会（改善センター、助役出席）
 - ▼10日（仮称）大外環状線首長会議
 - ▼11日 一般国道8号線期成同盟会議（白根市、町長出席）
 - ▼12日 黒崎まつり実行委員会（役場、町長出席）

地域で進む花いっぱい運動

六月三十日（日）、寺地西団地の皆さんが、団地内の済生会病院側道路で花を植えました。植えたのは、町が提供したサルビア、マリーゴールド、ペチュニアなど約五百株です。病院からもよく見えるようなので、患者さんたちにも花の美しさを楽しんでもらえたら」と参加者からの声。



上/花を植える寺地西団地の皆さん
下/プランターを運ぶ善久花の会の皆さん



なお、このプランターは平成三年度自治宝くじ助成事業の助成を受けています。（建設課）

黒埼町の八幡

執筆 宮田栄門

黒鳥の芸能活動(二)

遊芸団、保存会のあとをうけて 現在も活動を続ける「八幡会」

昭和八年ころ、遊芸団は本間弥寿男、江端俊忠、古川光雄、大橋源平らの若手が入って一段とぎやかにいった。

昭和八年ころ、遊芸団は本間弥寿男、江端俊忠、古川光雄、大橋源平らの若手が入って一段とぎやかにいった。十四年ころには、本間ハナ、江端トミエ、江端操、佐藤ミヨラ四人の娘たちが遊芸団に入った。彼女たちは「なきなた踊り」や「手踊り」「八木節」などを踊った。しかし、十六年に太



写真上／黒鳥の民謡、流して踊る「八幡会」の皆さん。下／7、8年前に大野での民謡流して踊る「八幡会」の皆さん。

く形となり、「保存会」と呼ばれるようになった。（ほかに驚尾年秀（会の運営やまとめ役をやった）、本間庄太郎、大橋全一郎、阿部徳一、吉井広一らが協力した）

昭和二十二年、鷺尾サチ子（十五歳のころ、一ヶ月前上の古川ウメノ、保莉リツ子たちと三人で、戦前、遊芸団員だった本間健吾や古川光雄、保莉清らから黒鳥伝統の「なきなた踊り」や「手踊り」を習った。当時、緒立八幡宮敬神遊芸団は解散状態だったの

で、彼女たちのつくった踊りのグループは遊芸団を引き継ぎ、平洋戦争が始まり、戦争の激化とともに遊芸団は自然消滅の形になった。

「保存会」が結成される。昭和二十二年、鷺尾サチ子が十五歳のころ、一ヶ月前上の古川ウメノ、保莉リツ子たちと三人で、戦前、遊芸団員だった本間健吾や古川光雄、保莉清らから黒鳥伝統の「なきなた踊り」や「手踊り」を習った。当時、緒立八幡宮敬神遊芸団は解散状態だったの

で、彼女たちのつくった踊りのグループは遊芸団を引き継ぎ、平洋戦争が始まり、戦争の激化とともに遊芸団は自然消滅の形になった。